

西小だより



よく考え 仲間とともに やりぬく子

「あたま・こころ・からだ」を鍛える地域から愛される学校

校長 水野 聡

慌ただしかった4月、5月の大型連休を経て、落ち着いて教育課程が実施できるようになるとともに子どもたちの学校生活も軌道に乗ってきました。さて、川辺西小学校の4月と5月の生活目標は「鍛える」が合言葉でした。練習や修練により心身や技術をしっかりしたものにするという意味と共に鉄等の金属を鍛錬することで硬度、密度を高め良質なものするという意味もあります。2年生から6年生は「新入生を迎える会」の準備やリハーサルに多くの時間を費やし当日を迎えたことにより、1年生に喜んでもらえる会となりました。‘新入生のため



に’という願いが成功という形となったことで、心の成長となりました。また、先日（5月19日（月））に川辺町教育委員訪問があり、委員の方々から「月曜日の1時間目は落ち着かない学校が多い中、とても落ち着いており清々しいですね。」とうれしい講評がありました。これまでの年月をかけて硬度、密度が高く質のよい学校になってきている証です。ありがたい講評を誇りにさらに子どもたちとともに高まっていきます。

「磨き」の6・7月

川辺町が大切にしている言葉のひとつに「あらたま」があります。磨かれる前の宝石の原石のことで川辺町の子どものこと。学校生活に慣れ、落ち着いた6・7月は子どもたちを成長させるのによい時期と言えます。学習ならば日々の授業はもちろん、各機関の訪問者に参観してもらって公開授業や研究授業、地域探検や社会見学など校外学習での学びの場。防災・防犯の訓練や熱中症等から自分自身の身を守るための命について考える学び。これらの学びは個人の努力はもちろん、仲間とともに意見を交わし学び合い、時には対立することがありながらも、それが磨きになり高まり合うことで成長につながります。夏休みまでの振り返りとなる6月。充実した西小の学校生活としていきます。



【力を込めて床を磨く】